

マイルストーン (milestone)

みなさんの進路選択の目印となりますように

福山市立城東中学校 第3学年
進路通信 No.5
2017年(平成29)年11月19日

受験校決定にむけて



(1) 受験校の数

2～4校までの受験が多いです。あまり多いと①生徒の負担が増えること、②受験料や経費もかさむこと、③手続きが煩雑(はんざつ)になり、書類不備や手続きミスが生じやすいこと、などが危惧(きぐ)されます。おうちの人とよく相談して、できるだけ受験校を絞り込むことが望ましいです。

(2) 検査内容をよく検討しよう

受験科目は3教科?5教科?面接は個人?グループ?作文(小論文)は?検査内容を確認して無理や無駄のない受験を心がけていきましょう。

(3) 入試日程に気をつける(日程表で細かく確認) ※提出物は校内締め切り期限厳守!

① 手続き期間

→受付期間内の初日に手続きができるように早めの「校内締め切り」になっています。

② 受験料等支払方法

→振り込みの場合は銀行なのか、郵便局なのか為替に換えるのか稀に現金持参もあります。

→振り込みの時間は確保できるのか、誰がいくら振り込むのか、振り込み後の扱いはどうするのか、家族で確認しましょう。

③ 入試日が重ならない

→同日受験日の場合、いずれか1校しか受験できません。

→連日受験の場合は、受験会場や集合時間、交通手段などについてあらかじめ確認しておきましょう。

④ 合格発表の日時と手続きの締め切り日時は大丈夫?(複数受験の場合)

→「A 高等学校の結果を見て、B 高等学校の手続きを決めたい」時に、日程的にむずかしいことがあります。

→専願、併願、特待生などは手続きが異なる場合が多いので間違えないようにしましょう。

→登校日が重なっていませんか(合格した生徒の登校日に行かなければ合格取り消しになります)。

(4) 無理や無茶は成功しません

不安やあせりから無理な取り組みや生活習慣に陥ってしまわないようにしましょう。特に、翌朝の遅刻や授業中の居眠りなどがあるようでは意味がありません。また、季節の変わり目になりますから必ず休養を取って、体調管理に気をつけましょう。

(5) 他人と比べない

受験するのも、入学してから通うのも結局「自分」であるということ。人の言葉に惑わされないことが大切です。どこに通うかではなく、入学してからが本当の勝負です。